

伊豆・東部

障害ある人の人権考える

沼津で
シンポ
生きることの幸せ訴え

県東部健康福祉センターは17日、シンポジウム「障害のある人の人権」を沼津市のプラサヴェルデで開いた。

道志さんは出産当日に「弓華ちゃんは一生歩けない、話せない」と医師に告げられて衝

動し、染色体の病気を「14トリソミー」を抱えて生まれて8歳8カ月

夫の「生まれてきてく

る」と題して基調講演し、染色体の病気を

「14トリソミー」を抱えて生まれて8歳8カ月

月で亡くなったまま娘を語った。

「弓華ちゃんとの日々を振り返り、「生まれてこなければよい命なんて一つもない」と、聴講した約400人に生きることの幸せを訴えた。



命の尊さを訴える道志さん＝沼津市のプラサヴェルデ